

平成22年度 事前評価実施地区一覧表

四国森林管理局

整理 番号	都道府県	事業実施主体		事業名	事業実施地区名		総便益 (千円) B	総費用 (千円) C	分析 結果 B/C	チェックリスト															備考	
										I 必須事項					II 優先配慮事項											
										1	2	3	4	5	1 有効性		2 効率性		3 事業の実施環境等							
															(1)	(2)	(1)	(2)	(3)							
					①	②			①	②	③	④	⑤													
1	香川県	四国局	香川所	森林環境保全整備	香川計画区	かがわ	3,121,792	838,214	3.72	○	○	○	○	○	A	A	B	A	A	A	A	B	C	A	A	
2	愛媛県	四国局	愛媛署	森林環境保全整備	今治松山計画区	いまばりまつやま	1,775,617	342,098	5.19	○	○	○	○	○	B	A	B	A	A	A	A	B	C	A	A	
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										
11																										
12																										
13																										
14																										
15																										
16																										
17																										
18																										

※森林環境保全整備事業、森林居住環境整備事業ごとに別様とする。

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成23年度～平成27年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（かがわ） 香川森林計画区 （香川県）	事業実施主体	四国森林管理局 香川森林管理事務所																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、香川県全域を範囲とする香川森林計画区の国有林野7,530haのうち森林居住環境整備事業対象地以外の6,036haを対象としている。</p> <p>当計画区の国有林野は、その大半は讃岐山脈に沿って帯状に分布し、一部は沿岸部と讃岐平野に分布している。また、スギ、ヒノキを中心とした植林が行われ人工林率は68%となっており、人工林の齢級配置は、7～12齢級の森林が約71%を占めており、長伐期化や複層林化を推進していく中で、高齢級化していく人工林についても適切な施業を引き続き実施する必要がある。</p> <p>また、国有林面積の84%が保安林に指定され、水源地帯として水源かん養機能の高度発揮が強く求められているほか、山地災害防止機能はもとより計画区北部は、県立自然公園に指定され、森林景観など豊富な資源に恵まれていることから、登山など森林を利用したレクリエーション・保健休養の場としての機能の発揮が求められていることから、国土の保全、水源のかん養に加え、木材利用の推進、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等公益的機能の発揮、とりわけ自然環境の保全に関する地域の要請は高くなっている。</p> <p>当事業は、これらの要請に応えるため、植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業、及び林道新設等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な森林整備を実施するものである。</p>																						
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">23 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>347 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>10.1 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>6.1 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">866,154 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	23 ha			保育面積	347 ha		路網整備	開設延長	10.1 km			改良延長	6.1 km	総事業費	866,154 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	23 ha																				
		保育面積	347 ha																				
	路網整備	開設延長	10.1 km																				
		改良延長	6.1 km																				
総事業費	866,154 千円																						
費用対効果分析	総 便 益 (B)	3,121,792 千円																					
	総 費 用 (C)	838,214 千円																					
	分析結果 (B/C)	3.72																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

## 別紙様式 7

整理番号 1

## 便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体： 四国森林管理局

事業実施地区名： 森林計画区（香川）

香川森林管理事務所

（都道府県名：香川県）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	192,283	
	流域貯水便益	58,470	
	水質浄化便益	99,820	
山地保全便益	土砂流出防止便益	246,440	
環境保全便益	炭素固定便益（樹木固定分）	73,717	
	炭素固定便益（森林土壌蓄積分）	16,701	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	350,199	
	木材利用増進便益	6,743	
	木材生産・確保増進便益	1,935,858	
	木材生産確保・増進便益（森林整備分）	24,192	
	木材生産確保・増進便益（路網整備分）	1,911,666	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	67,506	
	治山経費縮減便益	2,658	
	森林管理等経費縮減便益	1,799	
	森林整備促進便益	69,598	
		0	
総便益（B）		3,121,792	
総費用（C）		838,214	
費用便益比（B/C）		3.72	

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成23年度～平成27年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（いまばりまつやま） 今治松山森林計画区 （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、愛媛県北部に位置する今治松山森林計画区の国有林野2,513haを対象としている。</p> <p>当計画区の国有林野は、重信川の上流部、蒼社川等の源流部等にまとまって分布している。また、スギ、ヒノキを中心とした植林が行われ、人工林率は約66%となっており、ヒノキが約5割を占めている。人工林率の齢級配置は、6～12齢級の森林が約79%を占めており長伐期化や複層林化を推進していく中で、高齢級化していく人工林についても適切な施業を引き続き実施する必要がある。</p> <p>また、国有林面積の94%が保安林に指定され、水源地帯として水源かん養機能の高度発揮が強く求められているほか、山地災害防止機能はもとより計画区西部は県立自然公園に指定され、森林景観など豊富な資源に恵まれていることから、森林を利用したレクリエーション・保健休養の場としての機能の発揮が求められていることから、国土の保全、水源のかん養に加え、木材利用の推進、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等公益的機能の発揮、とりわけ自然環境の保全に関する地域の要請は高くなっている。</p> <p>当事業は、これらの要請に応えるため、植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業、及び林道新設等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な森林整備を実施するものである。</p>																						
	<table> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>9 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>89 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.5 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>4 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">336,722千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	9 ha			保育面積	89 ha		路網整備	開設延長	2.5 km			改良延長	4 km	総事業費	336,722千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	9 ha																				
		保育面積	89 ha																				
	路網整備	開設延長	2.5 km																				
		改良延長	4 km																				
総事業費	336,722千円																						
費用対効果分析	総 便 益 (B)	1,775,617 千円																					
	総 費 用 (C)	342,098 千円																					
	分析結果 (B/C)	5.19																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

## 別紙様式 7

整理番号 2

## 便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体： 四国森林管理局

事業実施地区名： 森林計画区（今治松山）

愛媛森林管理署

（都道府県名：愛媛県）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	45,400	
	流域貯水便益	18,102	
	水質浄化便益	30,901	
山地保全便益	土砂流出防止便益	65,808	
環境保全便益	炭素固定便益（樹木固定分）	17,450	
	炭素固定便益（森林土壌蓄積分）	12,337	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	186,726	
	木材利用増進便益	1,366	
	木材生産・確保増進便益	1,338,816	
	木材生産確保・増進便益（森林整備分）	7,099	
	木材生産確保・増進便益（路網整備分）	1,331,717	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	15,908	
	治山経費縮減便益	2,605	
	森林管理等経費縮減便益	502	
	森林整備促進便益	39,696	
		0	
総便益（B）		1,775,617	
総費用（C）		342,098	
費用便益比（B/C）		5.19	